



B M L

株式会社ビー・エム・エル 会社説明会

2026年3月18日
代表取締役社長
近藤 健介

目次

1. 会社概要
2. 事業概要
 - ① 検体検査事業
 - ② 食品衛生事業
 - ③ 電子カルテ事業
3. 成長戦略
4. サステナビリティ
5. 業績サマリー
6. 株式情報・株主還元について
7. その他

目次

1. 会社概要

2. 事業概要

- ① 検体検査事業
- ② 食品衛生事業
- ③ 電子カルテ事業

3. 成長戦略

4. サステナビリティ

5. 業績サマリー

6. 株式情報・株主還元について

7. その他

会社名	株式会社ビー・エム・エル (BML : Bio Medical Laboratories)
代表者	代表取締役社長 近藤 健介
本社所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目21-3
創業	1955年7月
資本金	60億円
連結従業員数	9,050名 (非正規従業員含む) 2025年3月末時点
グループ会社	連結16社 関連会社7社
上場市場	東証プライム
証券コード	4694

沿革

- 1955年 ● 保存血液の製造及び販売を目的として東京都渋谷区に**株式会社相互ブラッド・バンク**を設立
- 1967年 ● 臨床検査センターを設置し、臨床検査の受託を開始
- 1985年 ● 埼玉県川越市で検査の中心となる**BML総合研究所**を始動
- 1989年 ● 株式会社ビー・エム・エルに商号を変更
- 2001年 ● **東京証券取引所第一部に上場**
- 2015年 ● 連結売上高1,000億円を達成
- 2020年 ● 新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)PCR検査の受託を開始
- 2025年 ● **BML総合研究所 新棟稼働**
- 7月5日 ● **創立70周年を迎える**



BML創立70周年 記念広告



BML

70th Anniversary

豊かな健康文化を創造します

70年創業からこの思いが、
私たちBMLの企業理念であり、原動力でもあります。
創業以来培ってきた先進かつ高度な臨床検査技術と豊富なノウハウを基盤に、
「患者」「医師」「システム」の3つのネットワークを構築。
医療の発展と人々の健康づくりに貢献してきました。
医療のインフラを担う使命を担い、「医療界に貢献されたい企業をめざす」べく、
これからも精進を続けてまいります。

BML 総合研究所

2017年設立
〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区青葉9-1-1
TEL: 045-777-1111 (受付時間: 9:00~17:00)

ビー・エム・エルは、創業70周年を迎えました。

株式会社ビー・エム・エル

日本経済新聞 掲載
2025年7月7日(月)

企業理念

『豊かな健康文化を創造します。』

中期経営計画グループビジョン

『医療界に信頼され選ばれる企業をめざす』

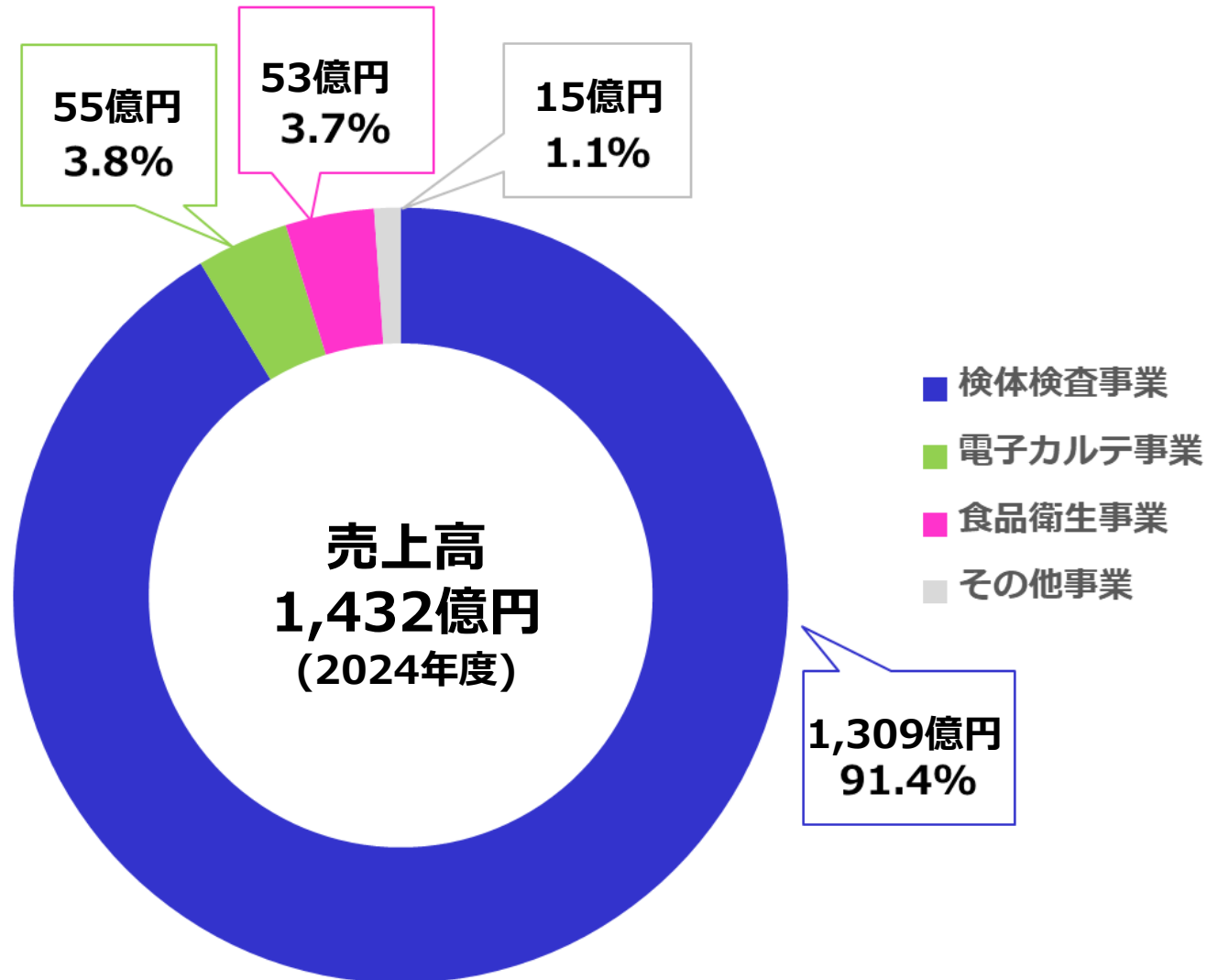
売上高推移

(億円)

2,000

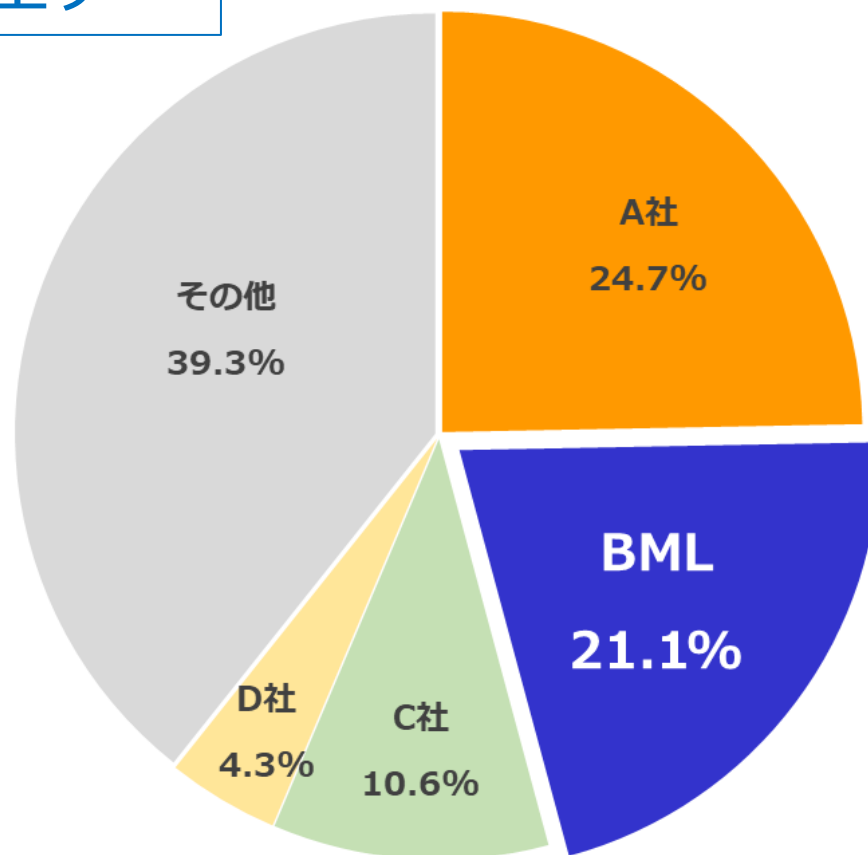


売上構成について



市場規模・業界シェア

市場規模
約6,200億円
(2024年度)



※矢野経済研究所
2025年版臨床検査センター経営総覧より出典

目次

1. 会社概要
2. 事業概要
 - ① 検体検査事業
 - ② 食品衛生事業
 - ③ 電子カルテ事業
3. 成長戦略
4. サステナビリティ
5. 業績サマリー
6. 株式情報・株主還元について
7. その他

検体検査事業

- ◆ 売上高 1,309億円
- ◆ 売上構成比 91.4%

保険適用 検体検査

- ・ 病気の診断、治療の経過観察関連
- ・ 治療薬の効果を事前に予測するコンパニオン診断(CDx)

保険適用外 検体検査

- ・ 健診(病気の予防や早期発見)
- ・ 研究開発

検体検査事業とは

取引先



病院
約 8,000 施設



クリニック
約 100,000 施設



健診施設
(企業健診 等)



BML

BML

検体検査を受託・測定

検査項目

● 血糖 (グルコース)

● HbA1c

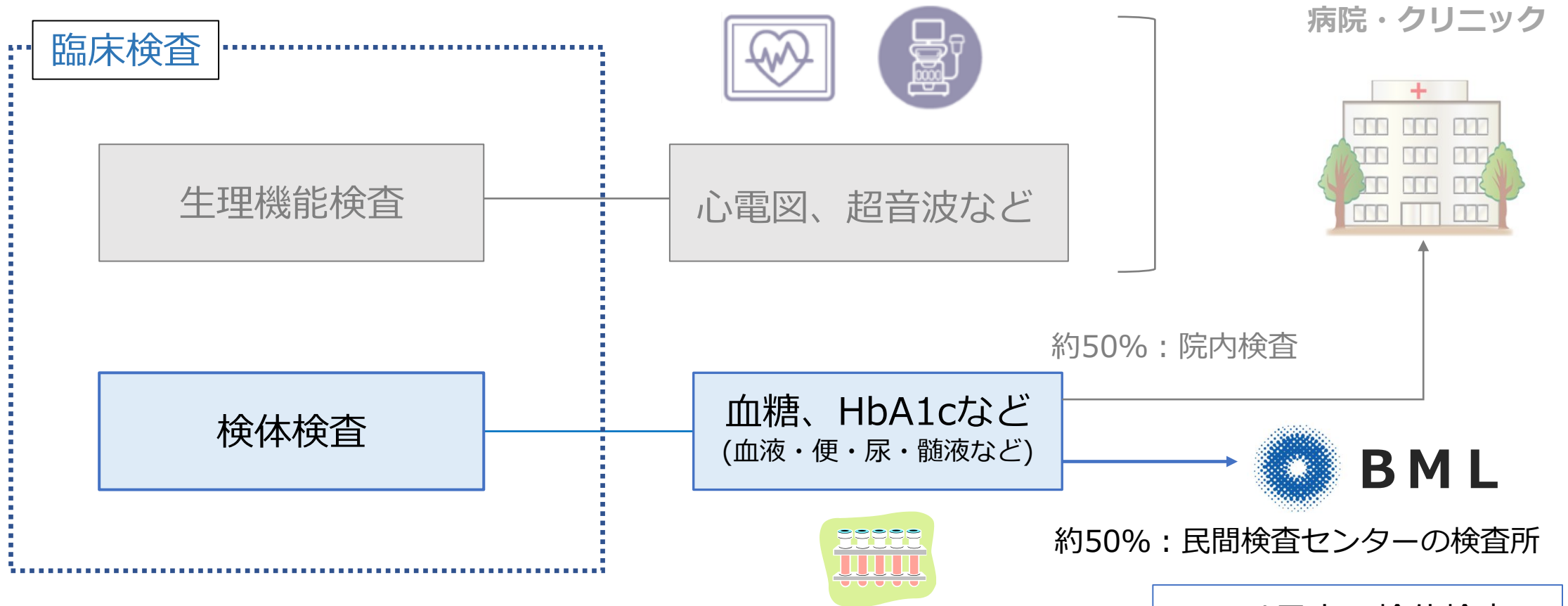
● γ -GTP

● 総コレステロール

● 尿蛋白・尿糖

等

検体検査とは



BMLは日本の検体検査の
10%超を実施

具体的に行っていること

病院・クリニック



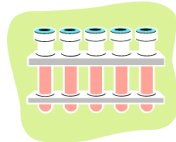
受診



採取 (採血)



検体



データ



検査結果報告書

BML 生化学 検査完了

000-00 石川しほ本病院 検査完了
 04992-00 001-0001 宛先: 先生
 受付日: 16年 4月 1日 9時
 検査日: 16年 4月 1日 9時 5分

氏名: BML サンプル
 カルテNo: 36790 性別: 男 年齢: 35歳

項目名	IS	単	単位	基準値
#総蛋白	7.8	g/dL	6.5-8.5	
#アルブミン	4.2	g/dL	3.5-5.3	
#ビリルビン(Bi)	1.0	mg/dL	0.2-1.2	
#AST	0.8	U/L	0.0-37	
#ALT	0.8	U/L	0.0-40	
#ALP	7	U/L	0-125	
#GOT	6.5	U/L	0-40	

16/ 4/ 5 0009 検査科 検査(生)

BML

<BML総合研究所>



<拠点ラボ>



<緊急ラボ>



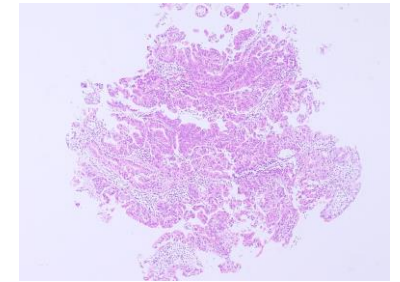
病気の診断、治療の経過観察

▶▶ 一般検査*¹から特殊検査*²まで、幅広い検査ニーズに対応

- 検査項目数：4,000項目超
- 微生物検査および病理検査は日本最大級の検査数
- ゲノム検査などの高度な特殊検査にも対応
→今後市場の拡大が見込まれます



(細菌検査 鏡検)



(染色した病理組織)

*1 基本的な体の状態を調べる検査

検査名	検査項目
肝機能検査	AST、ATL、 γ -GT 等
糖質検査	血糖、HbA1c 等
尿検査	蛋白、糖、潜血 等
便検査	便中ヘモグロビン 等

等

*2より専門的な原因や病態を詳しく調べる検査

検査名	検査項目
アレルギー検査	スギ、ハウスダスト 等
肝炎ウイルス検査	B型肝炎ウイルス 等
細菌検査	大腸菌、緑膿菌 等

等



(ゲノム検査 前処理)

ゲノムとは

そもそも
ゲノムって？

体の中にある「設計図」



約37兆個の
細胞できている

一つひとつの細胞に
DNAが入っている

DNAは身体の
設計図

ゲノム検査でわかること



遺伝性疾患の診断



がん原因遺伝子の診断



最適な薬の選択



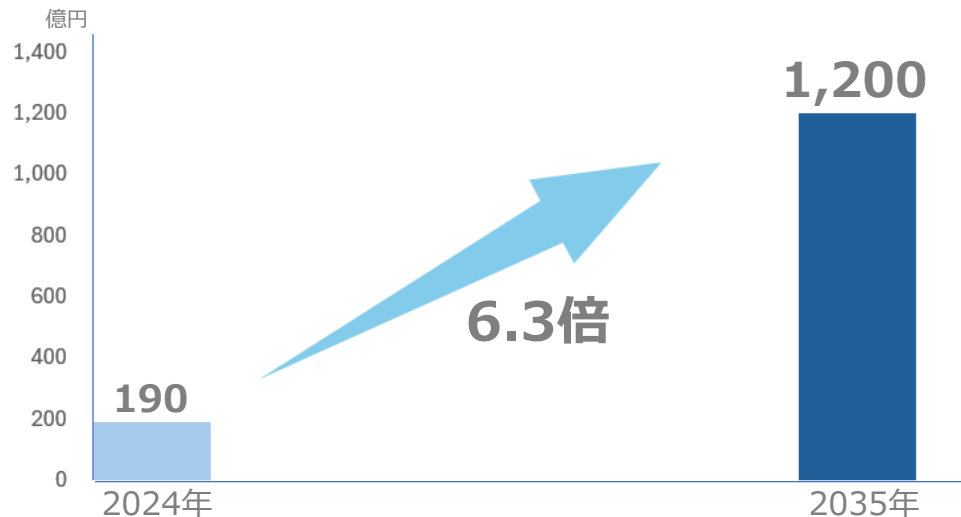
副作用の回避

など

ゲノムとは

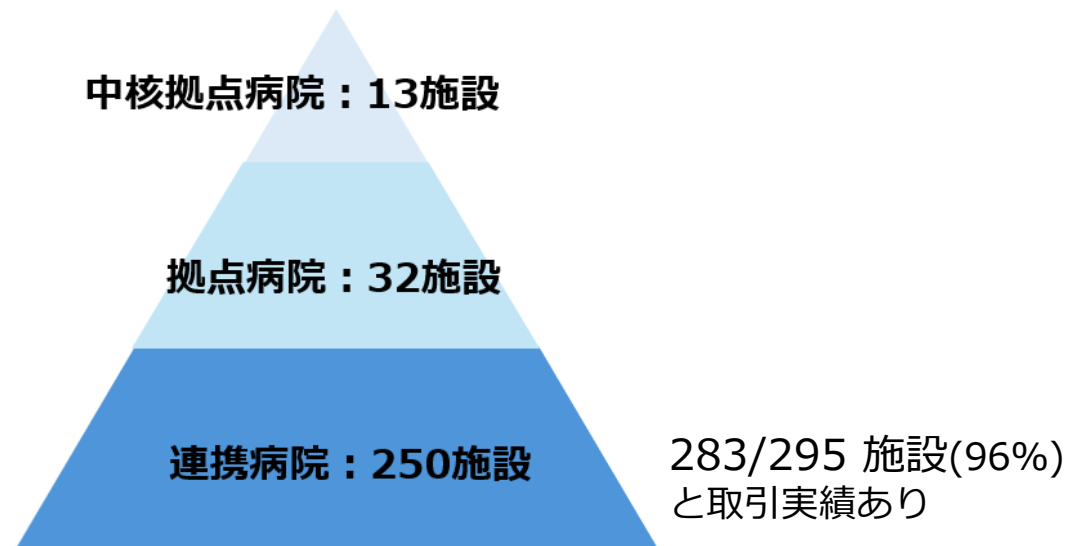
▶▶ ゲノム検査市場の展望と医療提供体制

●ゲノム検査市場の成長性



(富士経済 プレスリリースより参照)

●がんゲノム医療の実施医療機関数

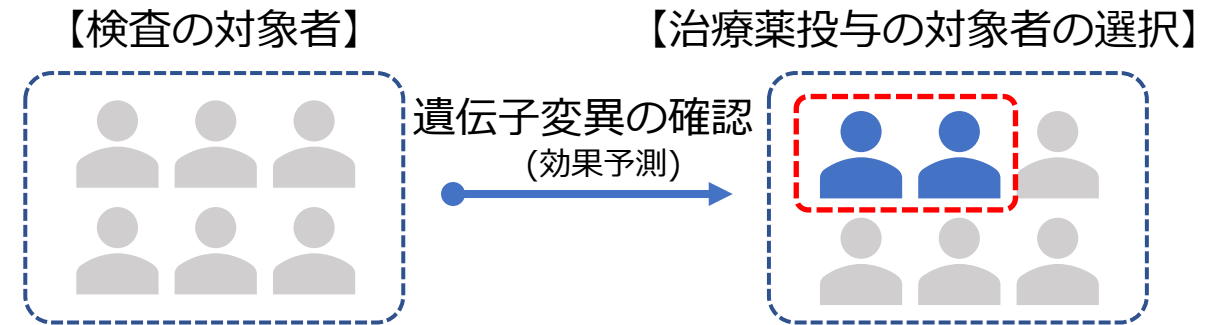


治療薬の効果予測 (コンパニオン診断:CDx)

▶▶ コンパニオン診断とは、
特定の治療薬を使用するにあたり、治療薬の
効果を事前に予測するために行う検査

例えば・・・

- 肺がん治療薬(イレツサなど)に対応する検査としてEGFR遺伝子変異解析検査があります
 - 結果が陽性と判定された患者様 : 治療薬が有効 → 投与
 - 結果が陰性と判定された患者様 : 治療薬が無効 → 別の治療薬を検討
 - 検査により、適切な患者様にのみ治療薬を投与でき、それ以外の患者に対しては無駄な治療を回避

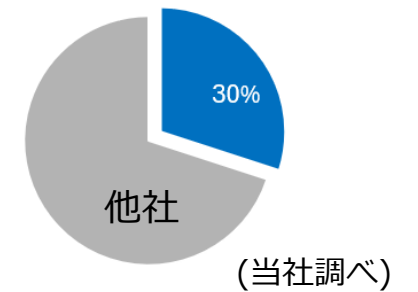


患者様の負担軽減および医療費削減が実現

健康診断(健診)

▶▶ 健診センターから受け取った検体検査を実施

- 正確な検査を提供して健診者の健康増進や疾患の早期発見に貢献
- 全国79ヶ所のラボの標準化を進め同一の検体を
どこのラボで検査しても同じ検査結果になるよう活動
→ 来所健診から全国展開している巡回健診にも対応

健診市場
(当社のシェア)

来所健診



企業健診

会社で毎年受ける
定期健康診断



人間ドック

より詳しく体を
調べる精密検査



住民健診

自治体が実施する
特定健診・がん検診

巡回健診

巡回健診
(バス健診)

健診バスが職場や
地域に出向いて実施

研究開発

▶▶ 産学連携の実績も多数

- 信州大学医学部寄附講座
「クリニカル・シーケンス学講座」の共同運営
- 大学研究室の支援
- 多施設共同研究の支援

▶▶ 独自検査項目の開発

- 造血器腫瘍(血液のがん)に関連した検査や
先天性難聴検査など新たなゲノム検査を提供
 - ・ MYD88/CD79B遺伝子変異解析
 - ・ STDマルチ定性/PCR など

クリニカル・シーケンス学講座



共同運営の目的

遺伝学的検査を担う



- ・ 人材の育成
- ・ 解析基盤の構築

アカデミアで培われた高度なゲノム検査
技術が衛生検査所に技術導出

3つのネットワーク



※ ラボ = ラボラトリー（Laboratory : 検査所）の略

集配ネットワーク

全国に拠点を持つ集配網

- 拠点数 **115 ヶ所**
- 集配人員数 **約 2,700 名**
- 集配コース数 **約 1,800 コース**

全国の医療機関をくまなくカバーし、
検体を迅速に回収してラボに搬送

集配ネットワーク
＜運搬＞



● 集配拠点 (115 ヶ所)

ラボネットワーク

BML総合研究所を中心とした全国ラボ体制

全国のラボ総数	79 ヶ所
● 緊急ラボ	71 ヶ所
◎ 拠点ラボ	7 ヶ所
● BML総合研究所	1 ヶ所

緊急検査や特殊検査など、検査の特性および内容により各ラボに役割を持たせた効率的なネットワーク体制を構築



BML総合研究所

▶▶ BML総合研究所の概要

- 敷地面積 約16,700坪 (約55,000㎡)
- 従業員数 約1,700名 (内非正規従業員 400名)
- 稼働体制 24時間 365日
- 測定能力 最大20万人/日



総合研究所

埼玉県川越市
関越道川越インターより車で15分



(BML総合研究所)

単独では国内最大級の検査所

徹底した検査ラインの自動化を追求



(自動化により人がいない検査室)



(AGV : 自動搬送システム)

BML総合研究所

▶▶ 2025年新棟稼働(6期棟)

- ・ BML総合研究所(新棟)のコンセプト

【10年後も持続的な成長が可能な基盤の構築】

- 検査キャパシティの拡張
→ 2023年度比140～150%の検査能力確保
- コスト削減
→ 受付から報告工程で10億円の削減効果を見込む
- 環境対策・BCP対策
→ 太陽光パネル・高効率熱源機器の導入によるCO₂の削減
→ 浸水・震災の被災時対策

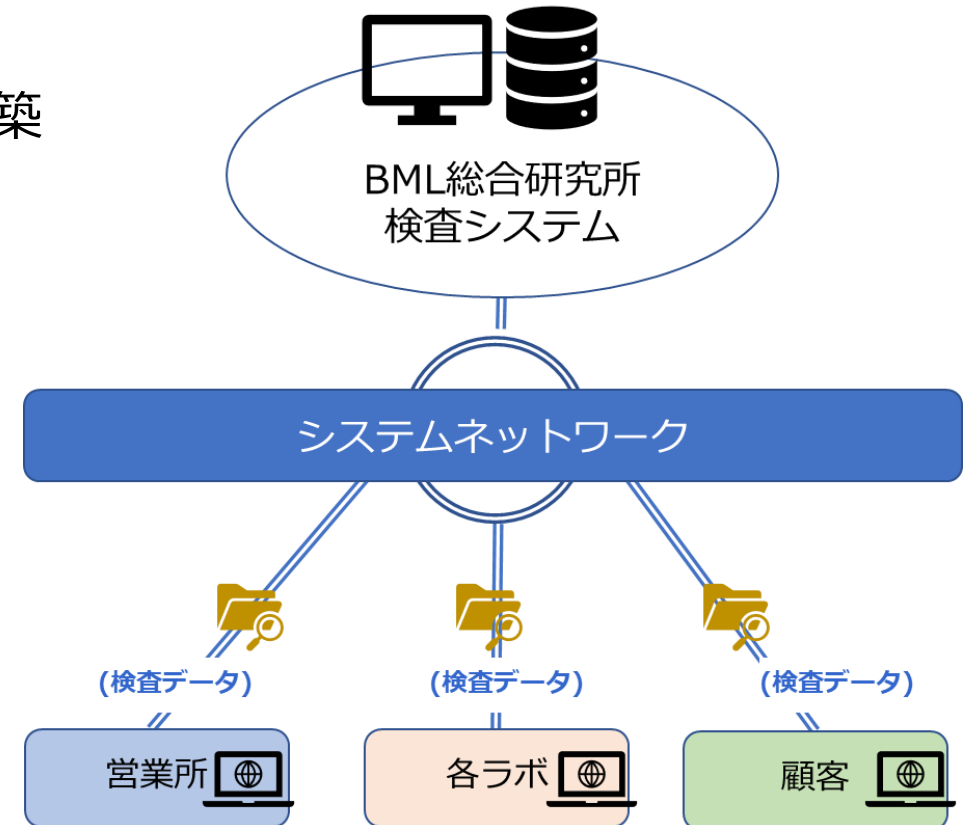


(総合研究所 6期棟)

システムネットワーク

▶▶ BML総合研究所の検査システムを中心に
全国の営業所・ラボ・お客様を結ぶネットワークを構築

- 1日にピーク日で40万患者、
800万項目の検査データを処理
- 検査依頼および結果報告の約70%を
デジタルデータとしてそれぞれ受信、送信
- 検査情報などを提供



3つのネットワークによる利点

1 集配ネットワーク

2 ラボネットワーク

3 システムネットワーク

統合的に
活用

BMLグループの最大の強み

全国の医療機関を受診した
患者様の検査結果を
正確かつ迅速に
お届けしています

目次

1. 会社概要

2. 事業概要

① 検体検査事業

② **食品衛生事業**

③ 電子カルテ事業

3. 成長戦略

4. サステナビリティ

5. 業績サマリー

6. 株式情報・株主還元について

7. その他

食品衛生事業

- ◆ 売上高 53億円
- ◆ 売上構成比 3.7%

食品コンサルティング事業

- ・店舗点検
- ・工場監査・認証
- ・食品表示点検・作成

検査事業

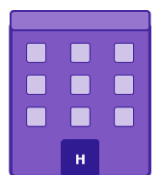
- ・食品検査
- ・腸内細菌検査

食品衛生事業とは

取引先

コンビニエンス
ストア

飲食産業



ホテル



食品メーカー



主な業務内容

- 店舗点検
- 工場監査・認証
- 食品表示点検・作成
- 食品検査
- 腸内細菌検査



サービス導入企業

▶▶ BMLフード・サイエンスのホームページ

- サービスをご利用いただいている企業様

検査・品質管理の総合コンサルティング企業
株式会社 **BML** フード・サイエンス
BMLグループ

食の安全安心を
ワンストップサポート

BMLフード・サイエンスでは、
食に関わる様々な企業が必要な
衛生サポートサービスを幅広く提供しています

まずは資料ダウンロード

研修・セミナーを見る

当社サービスに関する依頼・お問い合わせ

メルマガ登録

サービスご導入企業様
SERVICE INTRODUCTION COMPANY

aim SERVICES

明日の健康を見つける
キッセイ薬品

CT
オリジン東秀

ANA
ANA CATERING SERVICE

SAINTMARC HOLDINGS CO.,LTD.

鎌倉バス?

サミット

COMPASS|JAPAN
GROUP

ハウステンボス

YAOKO
MARKETPLACE

Francfranc

細菌・ウイルスだけじゃない！
食中毒の世界
～化学性食中毒について～
ONLINE
3.13 START 15:00～

(一部抜粋)

食品コンサルティング事業

▶▶ 店舗点検

- 対象：飲食店やホテル等の調理場
- 内容：食品衛生レベルの改善に向けた提言・指導

▶▶ 工場監査・認証

- 対象：コンビニや飲食店等のサプライヤーとなる食品工場
- 内容：基準に基づいた適合性を評価
認証取得のサポート
認証取得例) ISO. FSSC 22000. JFS規格

▶▶ 食品表示点検・作成

- 対象：食品メーカー・百貨店などの販売店
- 内容：食品表示ラベルを法令等と照らした適切性の確認
一括表示ラベルの内容を作成



(店舗点検)



(工場監査)

名 称	□□□□□□□□□□
原材料名	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□
内 容 量	□□□□□□
賞味期限	□□□□□□□□□□
保存方法	□□□□□□□□□□
販 売 者	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□

⚠️ お取り扱い上の注意

□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□

栄養成分表示(000g当たり)

熱 量	0 kcal
たんばく質	0 g
脂 質	0 g
炭 水 化 物	0 g
食塩相当量	0 g

(当社分析比)



ゴミに出すときは
市町村の区分に
したがつてください。



0 000000 000000

(一括表示ラベル)

検査事業

▶▶ 食品検査

- 多様な顧客ニーズに対応した検査を提供

例えば・・・

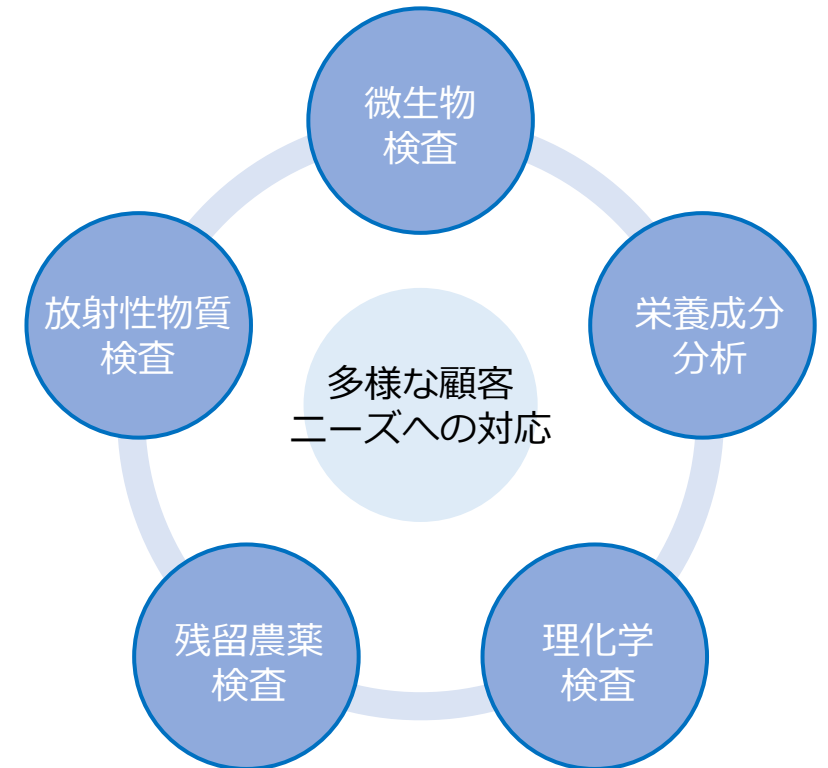


コンビニやスーパーのお弁当に対し、

- ・ 食品中に微生物などの有害物質が存在していないか
- ・ 成分表示記載内容に相違がないか
- ・ 誤って異物が混入していないか 等



(食品検査)



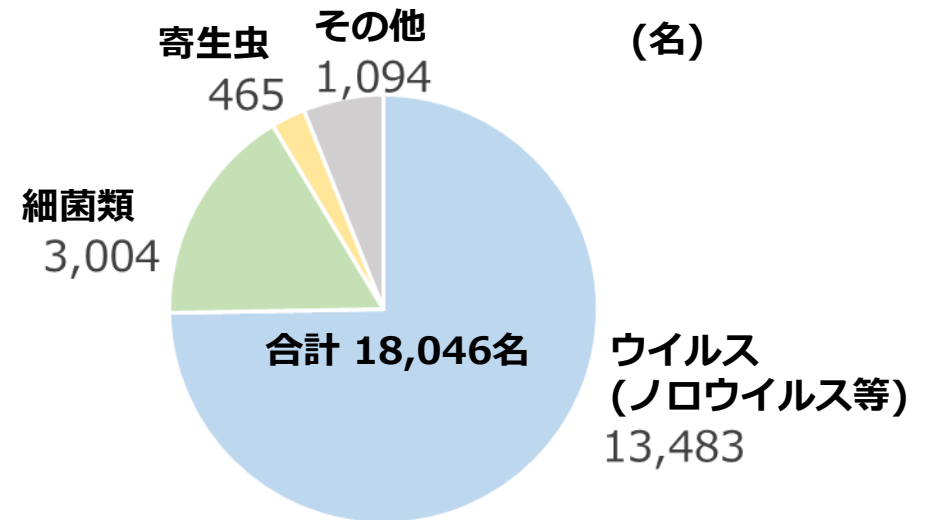
検査事業

▶▶ 腸内細菌検査

- 2025年は、年間18,046名の方が食中毒を発症

- 調理者を対象とし、健康保菌者*を早期に発見することで、感染拡大を防ぐ

* 病原菌を保有しているが菌による症状が出ていない人

食中毒発生状況
(2025年)

※厚生労働省統計より(速報)

当社の強み

<当社と競合他社とのサービス領域の比較>

	コンサルティング事業			検査事業	
	店舗点検	工場監査認証	食品表示	食品検査	腸内細菌検査
当社	○	○	○	○	○
A社	○	○		○	○
C社	○	○	○		
D社	○	○			

- ▶▶ **全ての領域をカバーしているのは当社のみ**
= 食品衛生事業の“総合コンサルタント”
- 当社で全てが完結

目次

1. 会社概要

2. 事業概要

① 検体検査事業

② 食品衛生事業

③ 電子カルテ事業

3. 成長戦略

4. サステナビリティ

5. 業績サマリー

6. 株式情報・株主還元について

7. その他

電子カルテ事業

- ◆ 売上高 55億円
- ◆ 売上構成比 3.8%

電子カルテ開発・販売

- ・ Qualis (オンプレミス型)
- ・ Qualis Cloud (クラウド型)

サポート・保守

- ・ 導入サポート
- ・ コールセンター

電子カルテとは

医療機関

医師が操作しているのが「電子カルテ」です



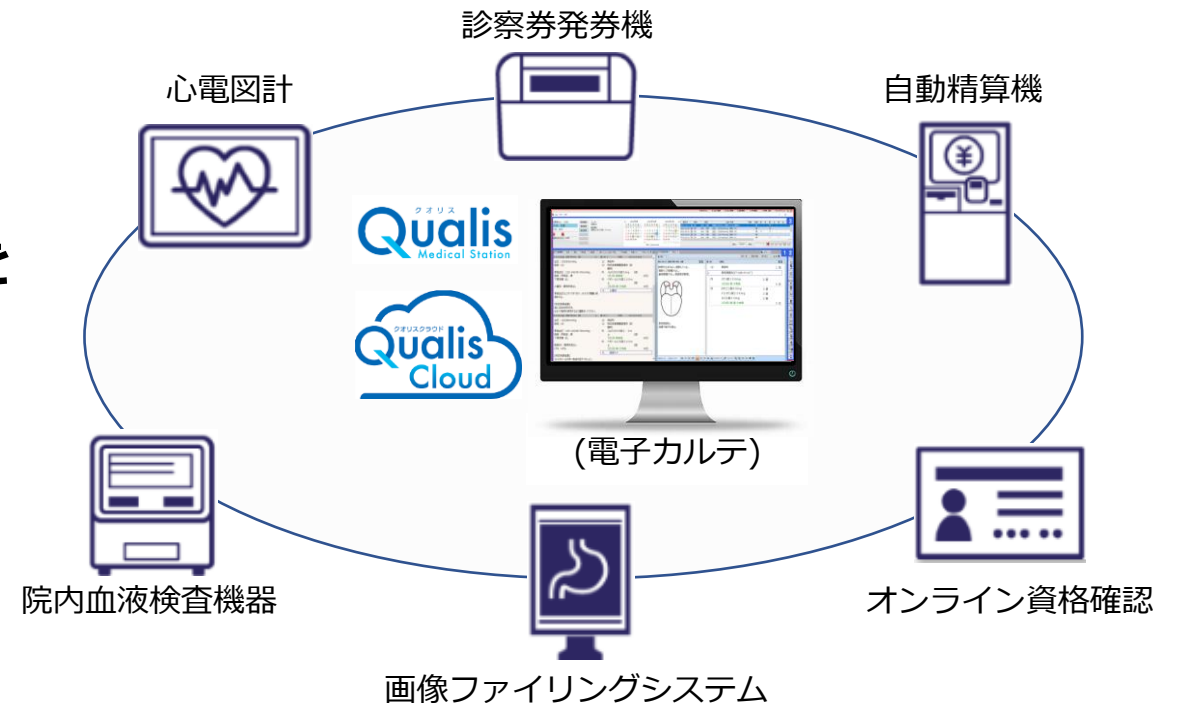
The screenshot shows a detailed view of a patient's medical record. Key elements include:

- Header:** Patient ID 1000, Name 宇田 患者 11, and a calendar for 2022年6月.
- Vital Signs:** 血圧: 135/83mmHg, 脈拍: 63.
- Medical History:** 家庭血圧: 100-140/90-95mmHg, 胸部: 呼吸音: 清, 下腿浮腫: なし.
- Medications:**
 - 12 再診料
 - 13 特定疾患療養管理料 (診療所)
 - 内 ノルバスコD錠 2.5mg 1錠 (1日1回, 朝食後)
 - 内 ベガールSR錠 2.00mg 1錠 (1日2回, 朝・夕食後)
 - ④ 心電図 (1日2回, 朝・夕食後)
- Diagnosis:** 急性咽喉炎. 投薬で様子を見る.
- Medication List:**
 - 内 バナ錠 1.00mg 2錠 (1日2回, 朝・夕食後)
 - 内 ロキソニン錠 60mg 3錠 (1日3回, 朝・昼・夕食後)
 - 内 トランジミン錠 2.50mg 3錠
 - 内 メジコ錠 1.5mg 3錠 (1日3回, 朝・昼・夕食後)

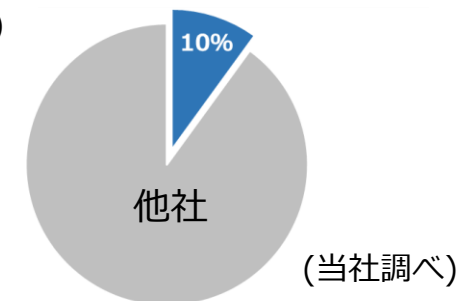
電子カルテ開発・販売

▶▶ 医療機関の情報ネットワーク化を推進するため 電子カルテ『Qualis』と『Qualis Cloud』を 開発・販売

- 院内機器との拡張性が高い
- 小規模から大規模の
クリニック・診療所まで幅広くカバー
- シェアは約10%



(電子カルテ市場シェア)
ビー・エム・エル



サポート・保守

▶▶ 導入サポート

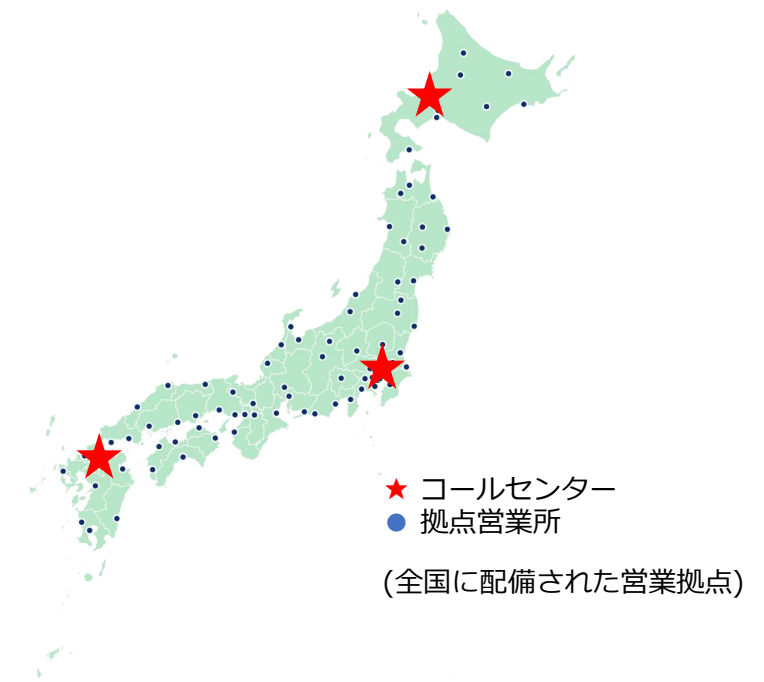
- 導入時の操作トレーニングの実施
- 運用開始後のフォローアップ対応
- 全国100ヶ所以上の営業ネットワークによる現場対応

▶▶ コールセンター

- 自社運営で専門のオペレーターによる迅速な対応
- リモート操作による状況確認
- アップデートや診療報酬改定など重要情報を適宜案内



(自社運営のコールセンター)



目次

1. 会社概要
2. 事業概要
 - ① 検体検査事業
 - ② 食品衛生事業
 - ③ 電子カルテ事業
- 3. 成長戦略**
4. サステナビリティ
5. 業績サマリー
6. 株式情報・株主還元について
7. その他

第9次中期経営計画の基本戦略フレームワーク



第9次中期経営計画でめざすべき姿

- 新棟・DX・価格戦略効果による収益の飛躍的向上
- 安定した売上成長：年平均成長率 CAGR 4.0%以上を継続'28年度売上高1,600億円
- バランスのとれた成長投資と株主還元：ROE8.0%以上を実現



目次

1. 会社概要
2. 事業概要
 - ① 検体検査事業
 - ② 食品衛生事業
 - ③ 電子カルテ事業
3. 成長戦略
4. **サステナビリティ**
5. 業績サマリー
6. 株式情報・株主還元について
7. その他

サステナビリティ基本方針

- 1 豊かな健康文化の創造による貢献
- 2 地球環境の保全
- 3 人権の尊重
- 4 働きがいと活力のある組織の実現
- 5 ステークホルダーからの信頼の確立

環境への取組み



▶▶ 取組み① 環境負荷低減への配慮

- 空調設備の高効率化
高効率熱源機器の導入
(年間約478 t -CO₂の削減)
- 空調設備の整備
刷新と配管の見直し
(年間約1,200 t -CO₂の削減)



(高効率熱源機器)

環境への取組み



▶▶ 取組み② 再生可能エネルギーの活用

- 太陽光パネルを設置
再生可能エネルギーを活用



(太陽光パネル)

▶▶ 取組み③ 環境負荷軽減

- エコカーの導入
2030年度のCO2削減目標値達成
(2021年度比30%削減)に向け、
HV車・PHEV車やEV車を順次導入



(エコカー)



(EV急速充電機)

ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン (DE&I)の推進

▶▶ 女性が「働きやすく、働き甲斐のある」職場の実現

- 女性ワーキンググループの設置
女性にとって働きやすい職場環境について検討
- 女性キャリアデザインセミナーの開催
仕事とライフイベントの両立に関する研修およびグループワーク
- DE & I の研修
アンコンシャスバイアスの払拭や、職員が働きやすい職場環境づくりに取り組む



えるぼし



プラチナくるみん



(女性キャリアデザインセミナー)

1) DE&I (ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン)

3

多様な人財の活躍を推進するための概念として、近年注目されている「DE&I」という言葉を聞いたことはありますか？

Diversity (ダイバーシティ)・**Equity** (エクイティ) & **Inclusion** (インクルージョン)の頭文字を取った略語で、以下の状態を意味する言葉です。

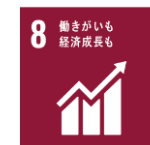
- ✓ 組織の中で多様な人財が存在することを認め (ダイバーシティ：多様性)
- ✓ 機会や情報、リソースへのアクセスを公平に保証し (エクイティ：公平)
- ✓ 組織に所属する人が制約なく働ける環境、組織の中でどのように活躍できるように焦点をあてる (インクルージョン：包摂・受容)

これまで欧米を中心に浸透してきた考え方ですが、経営戦略の一環として、日本企業にも認知されつつあります。



(DE&I 研修)

人財育成



▶▶ 研修の実施

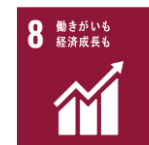
● 人財育成研修の実施

研修名	内容
階層別研修	階層ごとの役割認識
マネジメント研修	ラインケア／労務管理／イクボス／評価者
選抜研修	次期経営層を対象とした 戦略的思考／役割責任／役割行動
スキル&ナレッジ研修 ESG研修	メンタルヘルス／健康経営／育児・介護 ダイバーシティ／エンゲイジメント コミュニケーション／OJT／目標管理 コンプライアンス／人権／ビジネスマナー
ITリテラシー強化研修	情報セキュリティ(標的型攻撃メール・マルウェア等) ネットワーク知識／コンピュータ構成 IoT /クラウド／生成AI SNSリスク／MOSスキル習得



ITパスポート取得者
600名超 (2025年9月末時点)

健康経営の推進



▶▶ 健康を保持・増進する職場環境の推進

- 社内報、健康経営通信等を定期的に発刊し、健康意識と知識の向上
- ストレスチェックの実施によるメンタルヘルス不調者の未然防止
- 健康経営優良法人(ホワイト500)に4年連続で認定



2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門
ホワイト500

● 実績と目標

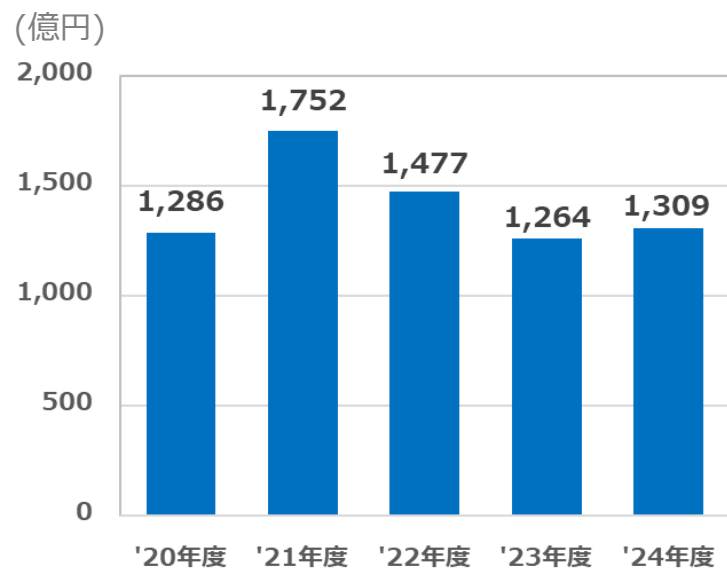
項目	2023年度	2024年度	2025年度目標
定期健康診断受診率	100.0%	100.0%	100.0%
ストレスチェック受検率	87.4%	92.3%	95.0%
月間所定外労働時間 (管理職を含む)	14.7時間	16.6時間	14.3時間
年次有給休暇取得日数	12.3日	12.4日	12.5日
健康増進研修参加率	98.9%	98.8%	100.0%
メンタルヘルス研修	100.0%	99.9%	100.0%

目次

1. 会社概要
2. 事業概要
 - ① 検体検査事業
 - ② 食品衛生事業
 - ③ 電子カルテ事業
3. 成長戦略
4. サステナビリティ
5. **業績サマリー**
6. 株式情報・株主還元について
7. その他

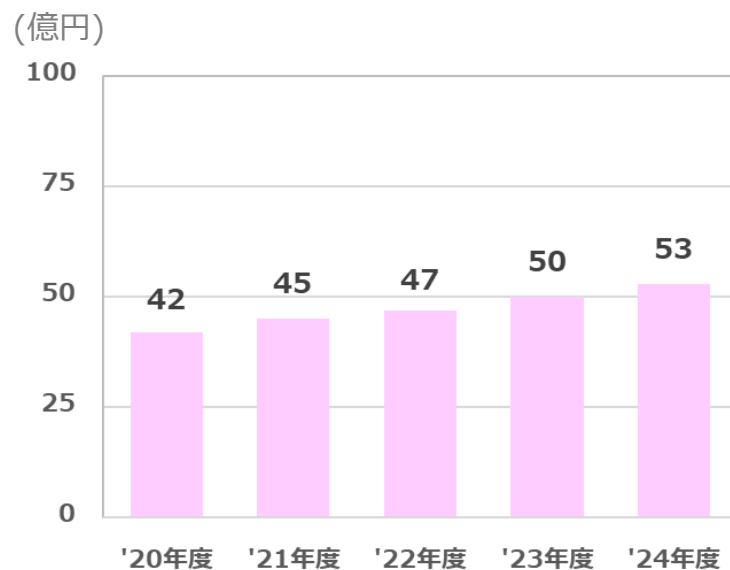
セグメント別売上

検体検査事業

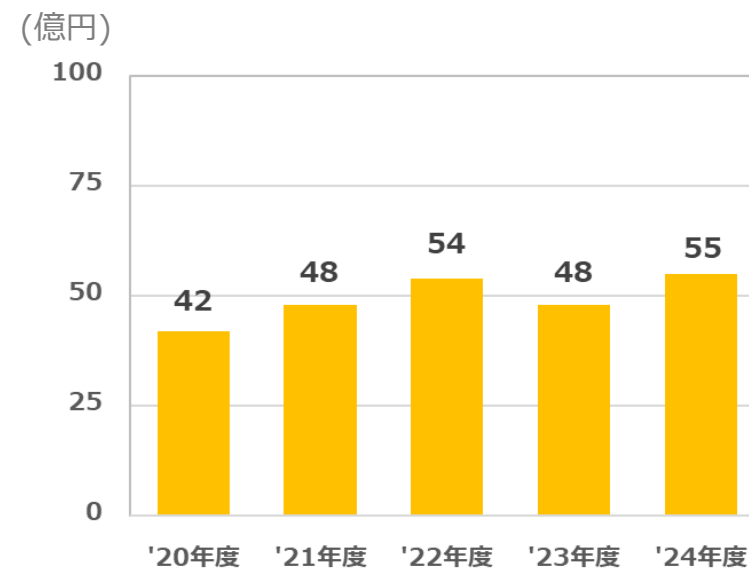


コロナ関連検査が寄与

食品衛生事業



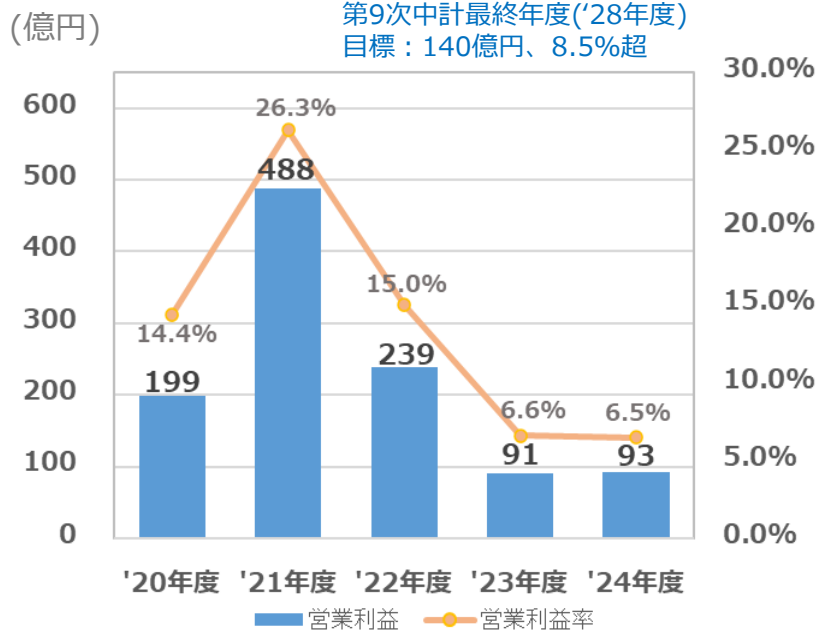
電子カルテ事業



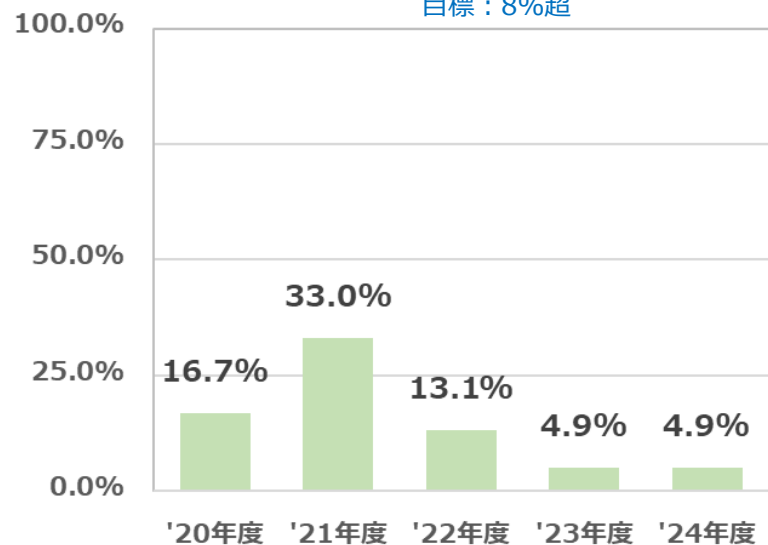
財務データ

営業利益

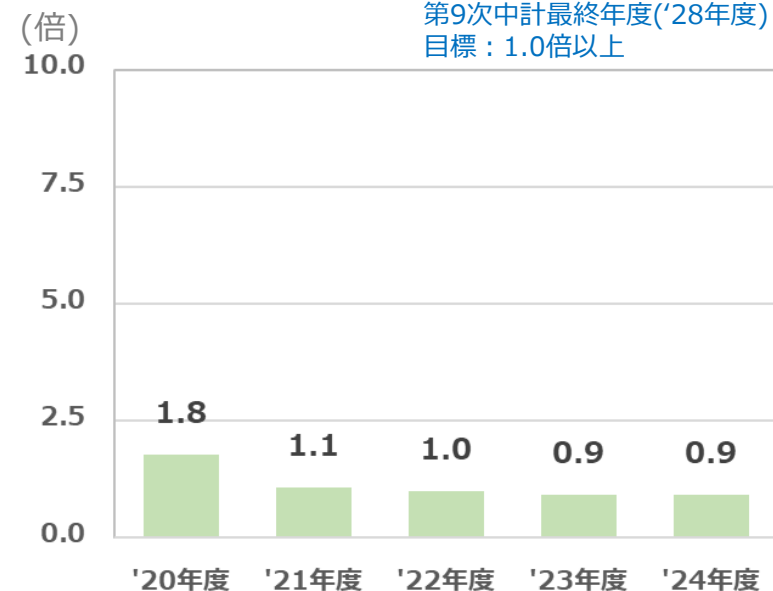
第9次中計最終年度('28年度)
目標：140億円、8.5%超

ROE
(自己資本利益率)

第9次中計最終年度('28年度)
目標：8%超

PBR
(株価純資産倍率)

第9次中計最終年度('28年度)
目標：1.0倍以上



← 新型コロナ関連検査が寄与

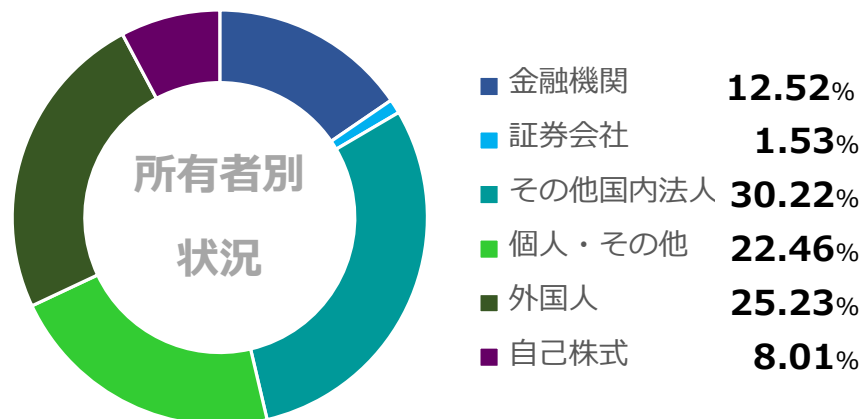
目次

1. 会社概要
2. 事業概要
 - ① 検体検査事業
 - ② 食品衛生事業
 - ③ 電子カルテ事業
3. 成長戦略
4. サステナビリティ
5. 業績サマリー
- 6. 株式情報・株主還元について**
7. その他

株式情報

発行済株式数	40,749,426株
単元株式	100株
株価	4,050円/株 (3月16日現在)
配当予想 (2025年度)	中間 60円 ・ 期末60円 年間 120円(予想)

(株主構成)



(2025年9月30日現在)

株価推移

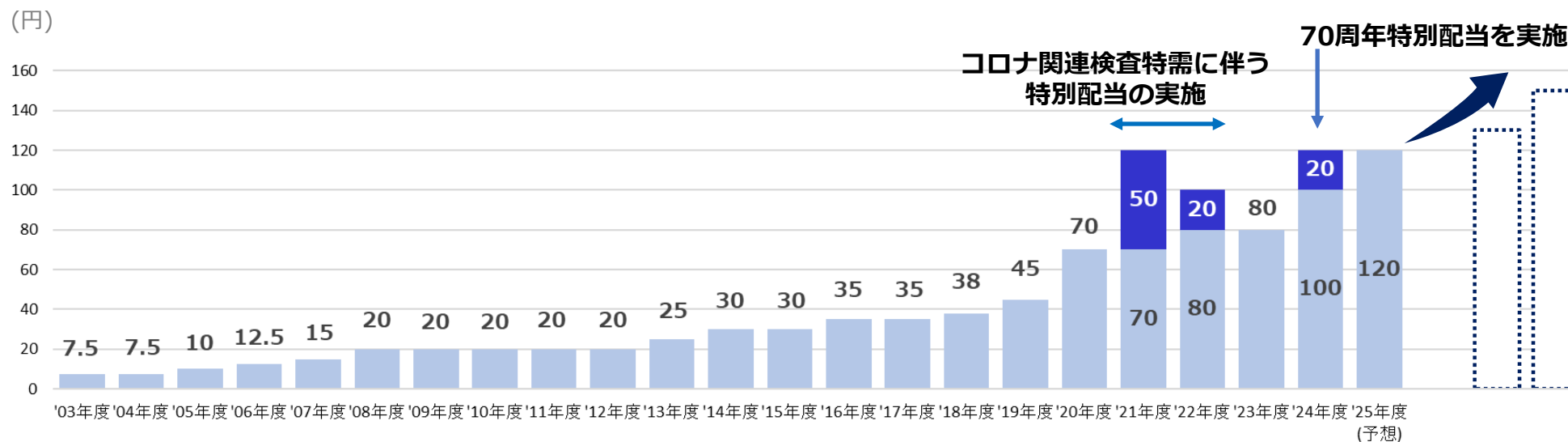
▶▶ 株価は堅調に推移 (分割後の株価で掲載)



株主還元

▶▶ 配当金の推移

- 第9次中期経営計画(2024~2028年度)の還元方針
→ 配当性向60%以上かつ1株あたり120円以上
- 2025年度は普通株式1,545,000株(53.7億円)を取得し、その後消却を実施



株主還元

▶ 株主優待制度の変更

現在の制度（～2026年3月31日）

保有株式数	保有期間	優待内容
100株以上 200株未満	定めなし	QUOカード 1,500円分
200株以上	定めなし	QUOカード 3,000円分

新制度（2027年3月31日～） ★ 100株以上保有 + 長期保有で優遇

保有株式数	保有期間	優待内容
—	1年未満	—
100株以上	1年以上3年未満	QUOカード 3,000円分
100株以上	3年以上	QUOカード 5,000円分

※「保有期間1年以上」=基準日（3/31・9/30）に同一株主番号で連続3回以上記載 「3年以上」=連続7回以上記載（各基準日100株以上）



BML株式について

▶ 安定性、成長性、株主還元のバランスが取れた株式

**安定性**

- ・インフラとして定着
- ・需要安定性が高い
- ・ボラティリティが小さい
(ベータ値0.35)

**成長性**

- ・高齢化社会による検査機会の増加
- ・予防医学への関心の高まり

**株主還元**

- ・総合利回り4%程度
- ・右肩上がりの配当を継続



B M L

株式会社ビー・エム・エル

会社説明会

目次

1. 会社概要
2. 事業概要
 - ① 検体検査事業
 - ② 食品衛生事業
 - ③ 電子カルテ事業
3. 成長戦略
4. サステナビリティ
5. 業績サマリー
6. 株式情報・株主還元について
7. その他

過年度の有価証券報告書等の訂正に関するお知らせ

1. 過年度決算訂正の理由および内容

過年度に公表いたしました有価証券報告書等および決算短信等において、退職給付関係の会計処理および関連する記載事項に誤りがあることが判明したため、監査法人と協議の結果、過年度の決算を訂正することといたしました。

当社は、従業員の退職給付に充てるため、積立型、非積立型の退職給付制度を採用しております。積立型制度において年金資産の額が退職給付債務を超過していたため、その超過額は退職給付に係る資産（個別財務諸表では前払年金費用）として資産計上し、非積立型制度における退職給付債務を退職給付に係る負債（個別財務諸表では退職給付引当金）として負債計上すべきでしたが、退職給付に係る資産と退職給付に係る負債を相殺した純額を退職給付に係る負債として誤って計上しておりました。遡って正しい処理を行い、以下、2に記載した期間の有価証券報告書等の訂正報告書を提出するとともに、決算短信等を訂正いたします。なお、**同期間における損益計算書への影響はございません。**

2. 訂正する有価証券報告書等および決算短信等

有価証券報告書等および決算短信等の訂正に関しましては、有価証券報告書等の公衆縦覧期間および修正額の影響度を考慮し、有価証券報告書および決算短信については過去5年間、半期報告書・四半期報告書および四半期決算短信については過去3年間の公表分を対象とすることといたします。

過年度の有価証券報告書等の訂正に関するお知らせ

3. 貸借対照表の差異

2025年3月期	訂正前	訂正後	影響額	増減率
総資産	177,507	182,873	5,366	3.0%
負債	43,734	49,100	5,366	12.3%
自己資本比率	72.9%	70.7%	-2.2%	—



B M L

株式会社ビー・エム・エル

会社説明会

過年度の有価証券報告書等の訂正に関するお知らせ

■ 2025年3月期（連結BS）

- ✓ 貸借対照表は相殺された資産・負債額5,366百万円が増加
- ✓ 損益計算書に影響は有りません

BS			
訂正前		(百万円)	
流動資産	102,259	流動負債	37,595
投資その他の資産	3,627	退職給付に係る負債	1,775
退職給付に係る資産	1,693	固定負債	6,138
固定資産	75,247	純資産合計	133,772
資産合計	177,507	負債純資産合計	177,507
▼			
訂正後			
流動資産	102,259	流動負債	37,595
投資その他の資産	8,994	退職給付に係る負債	7,141
退職給付に係る資産	7,059	固定負債	11,504
固定資産	80,613	純資産合計	133,772
資産合計	182,873	負債純資産合計	182,873
	影響額 +5,366		影響額 +5,366